

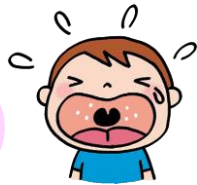


梅雨の間に、暑い日があり、蒸し暑さを感じる時期となりました。梅雨明けや急激に気温が上がった日は、体が暑さに慣れていないので、熱中症に注意が必要です。のどがかわいていなくても水分をこまめにとり、暑さに負けずに夏を過ごしていきましょう。

夏に多い感染症

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ぼう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1～4日くらいで解熱します。



手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ぼうがで、発熱することもあります。乳児で初めて発症したときは、発疹が全身に出て、熱が下がった後もしばらく残ることもあります。口の中に発疹があるとしみて痛い時があるので、食事は喉越しのよい物を食べましょう。



夏風邪を起こすウイルスは、冬のものとは異なり、高温多湿を好むタイプです。咳や鼻水は少なく、肺炎などに進行することは稀ですが、高熱が出て他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

咽頭結膜熱（プール熱）

アデノウイルスに感染することにより発症します。プールで感染することもあるので、プール熱ともいわれています。38～39℃の高熱が3～5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化のよい物を食べましょう。

流行性角結膜炎（はやり目）

アデノウイルスに感染することにより発症します。目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。発熱を伴うこともあります。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにしましょう。



アデノウイルスとは

アデノウイルスとは、呼吸器・眼・腸・泌尿器などに感染症を起こす原因ウイルスです。51の型に分類され、多くの型があるため、免疫がつきにくく、何回もかかることがあります。アデノウイルスにかかると、呼吸器感染症や咽頭結膜熱、流行性角結膜炎、胃腸炎などを起こします。**咽頭結膜熱・流行性角結膜炎を起こす型は、感染力が高く、流行を起こしやすいため、園に来る際は必ず、「登園許可証」が必要になります。アデノウイルスと診断されたら、登園許可証の必要な咽頭結膜熱・流行性角結膜炎に当てはまるかを医師に聞き、それらの場合は必ず「登園許可証」を医師に出してもらいましょう。**

6月のおしらせ

6月4日は虫歯予防デーです。今月は、3日に歯科健診、4日に幼児クラスで虫歯予防のはなしをしました。（保育士と看護師で「はははのはなし」の絵本を読みかせながら模型人形を使って実演しました。）

ご家庭での保護者の方々の丁寧な歯磨きのおかげか、虫歯のある子どもの数は減っていました。一方で、新型コロナウイルス感染症予防のため、園で歯磨きを行っていないためか、子ども達の歯磨きへの意識が低下しているのを感じました。歯磨きの大切さを仕上げ磨きの際などに子どもたちに伝えてあげてくださいね。

7月の予定

7月1～7日 身体測定
7月6日(火) 14:00 園医健診(0, 1歳児)



夏の戸外活動について

今年度も、昨年に引き続き、プールではなく水遊びを行っていきます。前日からの体調を観察していただき、プールカードへの記入をよろしくお願ひします。

熱中症予防のため、園庭での活動の可否を、「暑さ指数」(温度と湿度から計算されます)で判断しています。

「暑さ指数」が31を超えたら、園庭での活動・水遊び・散歩は中止します。よろしくお願ひします。



6月の感染症

水痘 2名 アデノウイルス感染症 4名
突発性発疹 2件

